

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《身近なものから考える環境問題》
- 2 単元名 『おしゃれも未来も自分でつくる～知っているかな井原の産業～』 (全10時間=実施時期: 4月～6月)
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

井原デニムについて調べ、衣類と環境問題について課題意識をもち、地域のリユース会に協力することを通して、地域の環境保全の取組をより深く理解し、その取組に対する課題や解決方法を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		綿いっぱい運動ってなんだろう	綿について知ろう	クロキ株式会社さんについて調べてみよう	クロキ株式会社さんにアポイントメントをとろう
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	綿いっぱい運動に参加することになったが、運動について知らないことがあることに気づくことができる。	・井原の産業として、井原デニムが有名であることを知ることができる ・身の回りにも井原デニムの製品があることに気づくことができる。		
	やり抜く力 (忍耐と向上心)			クロキ株式会社を調べ、環境に配慮した製法でデニムを作っていることに気づくことができる。	
	まき込む力 (発信と協働)	綿がどうして作られているのか知りたいという思いをもつことができる。		クロキ株式会社に行かなければわからないことがあることに気づき、見学行く必要性を考えることができる。	目的を明確に伝えながらクロキ株式会社に見学に行くためのアポイントを取ることができる。
仕掛け・工夫	もの		綿がデニムになっていることを知ること、井原デニムに興味をもつ。		
	ひと	商工課の方に綿いっぱい運動についてインタビューをする。			児童自らクロキ株式会社の方にインタビューのアポイントを取ることを通して、主体的に見学に行くことができるようにする。
	しごと(こと)			クロキ株式会社について調べることで、デニムを生産する上で、環境に配慮した工夫をしていることに気づくことができる。	
アウトプットの工夫		井原デニムの工場や環境に配慮した製法があることを知り、目的をもって見学に行くためのアポイントをとることができる。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

商工課
クロキ株式会社

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《身近なものから考える環境問題》
- 2 単元名 『おしゃれも未来も自分でつくる～環境にはいいよした会社～』 (全15時間=実施時期：6月～7月)
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

井原デニムについて調べ、衣類と環境問題について課題意識をもち、地域のリユース会に協力することを通して、地域の環境保全の取り組みをより深く理解し、その取り組みに対する課題や解決方法を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		インタビューの内容を決めよう	クロキ株式会社さんにインタビューしよう	インタビュー内容をまとめて、さらに衣類と環境について調べよう	環境保全のポスターをかこう
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)		井原デニムのすばらしさだけでなく、環境への配慮をインタビューから知ることができる。	1つの衣類を作るためにたくさんの水や資源が必要なことに気づくことができる。	学習したことをいかして、自分が関心をもった環境問題についてポスターをかくことができる。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)	インタビューの内容を精選したり、順番を吟味したりすることを通して、自分たちが聞きたいことを確実にインタビューできるようにする。		環境に配慮した取組に着目して、クロキ株式会社以外の会社の取組についても調べる。	
	まき込む力 (発信と協働)			インタビューで分かったことや心に残ったことをまとめて、他者に伝えようとする。	
仕掛け・工夫	もの		デニムの工場を現場で見学することで、井原の魅力を感じることができる。		自分なりに感じた環境保全に対して、自分ができることを、環境ポスターとして描く。
	ひと		児童からの質問だけでなく、環境へ目が向くように、クロキ株式会社に打ち合わせを行っておく。		
	しごと(こと)	インターネットなどで調べた内容をもとに、見学に行かなければわからないことを質問の内容として挙げるができる。		クロキ株式会社の見学後、デニムの素晴らしさの裏に環境に配慮するという努力がある点に注目させ、他にどんな取組があるのか興味をもてるようにする。	
アウトプットの工夫		環境に意識が向いたところで、環境保全のポスターを描き、環境に対する意識を高める			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

図画工作：環境保全ポスター
社会：くらしの中の水

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

クロキ株式会社

1 当該学年・学期等における探究課題 《身近なものから考える環境問題》

2 単元名 『おしゃれも未来も自分でくる～自分たちにもできるかな～』（全30時間=実施時期：9月～2月）

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

井原デニムについて調べ、衣類と環境問題について課題意識をもち、地域のリユース会に協力することを通して、地域の環境保全の取り組みをより深く理解し、その取り組みに対する課題や解決方法を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		自分たちにできることはあるかな	地域のリユース会について調べよう	校内リユース会を企画し、準備をしよう	リユース会をしよう
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	地域の環境に対して、自分たちができそうなことがあることに気づくことができる			お客さんの喜んだ様子から、自分たちの活動の価値を認識できる
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>			校内を経て地域でのリユース会に参加することで、より環境を意識した活動になる	アンケートを用意することで、フィードバックがある喜びを感じることができる
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>		地域リユース会の状況を知ること、どのような課題があるのか考えることができる		振り返りを行うことで、地域の環境保全に対して自分たちにもできることがあることに気づくことができる
仕掛け・工夫	もの	思考ツールを用いて考えを表現したり、全体で考えをまとめたりすることで、より思いに沿った意思決定が行えるようにする	今まで行われてきたリユース会の会場である公民館を見たり、残っているリユース製品を見たりすることで、リユース会の様子をとらえる	ポスターやちらしを用いて、校内にリユース会を宣伝する	
	ひと	地域の方にリユース会を行っている思いを伝えてもらい、「地域のために」という意欲を引き出すことができるようにする	公民館の方の話を聞くことで、リユース会で困っていることを知る	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人にリユース会のプレゼンを行いアドバイスをもらい改善できるようにする 校長先生にリユース会開催のプレゼンを行い、思いを効果的に表現することができるようにする 	学習発表会を通して、リユース会に人を呼び込み、たくさんの人に参加してもらうことができるようにする
	しごと（こと）				
アウトプットの工夫		表現ツール プレゼンテーション ポスター チラシ リユース会			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会：ごみのしまつと活用

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

保護者 他学年児童 青野公民館 リユース会企画者 公民館

◆単元のねらい「井原デニムについて調べ、衣類と環境問題について課題意識をもち、地域のリユース会に協力することを通して、地域の環境保全の取組をより深く

理解し、その取組に対する課題や解決方法を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができよう。



綿いっぱい運動とは？



情:地域のリユース会について調べよう
 ・リユースの利用状況を聞いてみよう。
 ・どんな風に商品を置いているのかな。
 ・もっともっと、たくさんの人に利用してほしい。
 ・リユースって大事なな。
 【知2】【思3】



課:自分たちにはできることはあるかな
 ・クロキ株式会社さんと同じことはできないけれど、自分たちにもできることがあるはず。
 ・地域で取り組めることはあるかな。
 → 制服、服のリユース（青野地区内での取組）
 【知1】【知3】【思1】

自分たちにはできること

整:リユース会を企画し、準備をしよう
 ・校長先生にリユース会開催の許可をとろう
 ・リユース品を集めよう。
 ・もらってくれる人が見やすいように、仕分けをしよう。置き方を考えよう。
 ・デニムの端切れをもらって、おまけにしたらどうか。
 ・ポスターやお知らせで呼びかけをしよう。
 ・会場に夏休みのポスターを貼ろう。
 ・ポスターを印刷して、タグにしよう。
 【思1】【思2】【学2】

ま:リユース会をしよう
 ・たくさんお客さんが来てくれるといいな。
 ・喜んでもらって嬉しいな。
 ・環境に配慮した活動が、自分たちにもできた。
ま:一年間を振り返る
 ・自分たちにもできることがある。
 ・これからも環境保全に気を付けていきたい。
 【知4】【学3】

課:インタビューの内容を決めよう
 ・サイトに、環境についての項目があったよ。
 ・特に力を入れていること、環境のことについて聞こう。
 ・質問の仕方、メモの取り方はどうすればいいかな。
 【思1】

環境に配慮した会社

整:衣類と環境について調べよう
 ・1つの衣類を作るために、たくさんの水や資源が必要なの分かった。
 ・環境に配慮するためには、他にも様々な取り組みがある。
 【思3】【知3】

情:クロキ株式会社さんにインタビューしよう
 ・インターネットにはかいていない、こだわりがあった。
 ・環境に配慮していることがよくわかる。
 ・永くはける、愛されるデニムということが分かった。
 ・井原デニムはすごい。
 ・どうして、環境に配慮する必要があるのかな。
→衣類と環境についてできることを見つけよう
 【知2】【思3】



ま:環境保全のポスターをかこう
 ・学習したことをいかして、ポスターをかこう。
 （夏休みの課題をいかす）
 ・水や資源を大事にした衣類を着よう。
 ・衣類を大事にしよう。
 【知4】【学3】

課:綿いっぱい運動って何だろう
 ・毎年植えているけれど、どうしてかな。
 ・できた綿は、どう使われているのかな。
 ・誰に聞けば分かるだろう。
 → 商工課
 → 井原高校
 → 西江原小学校
 【知1】

知っているかな？井原の産業

整:クロキ株式会社さんについて調べてみよう
 ・すごく有名な産業だね。
 ・世界に向けて売り出しているんだね。
 ・環境にも配慮していることが分かったよ。
 ・実際に話を聞いてみたいな。
 ・聞いてみたいことを出し合おう。
 【思3】

情:綿について知ろう
 ・育てた綿が、デニムに変身するのか。
 ・井原デニムすごい！
 ・ぼくたちの図書バック。
 ・クロキ株式会社さんは、どんな会社なのかな。
→井原デニムについて知ろう
 【知2】【思2】



ま:クロキ株式会社さんにアポイントメントを取ろう
 ・電話でお願いする時に気を付けることは何か。
 ・あいさつや、日時など、あらかじめ決めたり、練習したりしておこう。
 【知2】

◆成果 (○) ・課題 (△) ・来年度に向けて (☆)

- 児童が地域のためにできることがあることが分かり、地域のために動きたいという気持ちをもつことができた。
- △井原デニムの工場見学から環境へ意識を移していく計画だったが、デニムのすばらしさに児童の意識が思った以上にいき、環境へもっていくことが難しかった。単元の最初からもっと環境へ意識が向く手立てや授業の流し方が必要だった。
- ☆課題のつかみ方、見通しが立つゴールの設定、子どもの思考に合わせた柔軟な計画を大切にする。